



ふくだ
Fukuda

滑川町立福田小学校 学校だより

3月号

令和 5年2月24日

電話 0493-56-2651 FAX 0493-56-2643

校長 上野 修

つなぐ思い

「人間は、自分が望むものを他人に与えることによってしか手に入れることができない」
(クロード・レヴィストロース)

「私たちが何を考え何を知っていて何を信じているか、これらは結果に対してたいした影響を及ぼさない。結果を左右するのは、私たちが何をしたかである」
(ジョン・ラスキン)

2月6日、トルコ・シリア国境付近で大地震が発生し、これまでに5万人以上の方が亡くなったと報道されています。

先日、暖房の効いた職員室で「大地震で被災した人にこの暖かさを届けたいと思ってしまいます」という声が聞こえてきました。近藤先生です。私は、「近藤先生、そのお気持ちを形にしませんか」と申し上げました。近藤先生は先生方に相談し、代表委員会に投げかけました。代表委員の皆さんは、直ちに行動しました。「トルコとシリアへの募金をお願いします」というチラシを作成し、各クラスを回り募金を呼びかけました。その結果、20,396円の募金が集まりました。この募金は日本赤十字社を通じて現地へ送られます。

2月20日の読売新聞に「トルコへ恩返そう」という投稿がありました。「トルコは伝統的な親日国で東日本大震災の際には救助隊を派遣してもらいました。今度は日本ができる限り支援して、恩返ししてほしいです」と記されていました。

トルコは日本（人）が危機に瀕したとき、たびたび救いの手を差し伸べてくれます。イラン・イラク戦争（1980~1988）の際も、48時間後の攻撃予告の中、取り残された日本人215名は、トルコから駆けつけた救援機2機によって全員がイランを脱出することができました。

「トルコは伝統的な親日国・・・」このことについて少し説明したいと思います。実は、日本とトルコの絆をつないだ物語があるのです。それは、1890年（明治23年）のエルトゥールル号の悲劇です。

日本とトルコの友好のために訪日していたオスマン帝国海軍のエルトゥールル号がトルコへの帰国途中、明治23年9月16日に和歌山県串本町大島樫野崎沖で台風のために遭難してしまいました。岩礁に激突しエンジンが爆発してしまったのです。この事故で乗組員587名が亡くなり、生き残った人はわずかに69名という大海難事故となりました。この時、当時の大島島民は、不眠不休で生存者の救助や介護したほか、亡くなった人の捜索、引き上げに当たりました。また、日本全国から義援金や救援物資が寄せられました。助かった69名は、神戸の病院で治療を受けた後、比叡と金剛という日本海軍の軍艦でトルコに帰国を果たすことができました。トルコの人々が日本人に親切なのはこの時のことを忘れていないからなのです。日本とトルコには130年に渡る「親切の連鎖」「つなぐ思い」があるのです。

今回の募金活動は、被害の大きさから見ると、小さな、とても小さな親切です。でも、皆さんの厚い思いは被災された方々にきっと届きます。福田小の皆さんが親切の輪を広げてくれたことを私はとても誇らしく思います。

児童・保護者の活動、地域の皆様の活動

鳥井沼環境整備

2月7日(火)、5年生が、鳥井沼環境整備を実施しました。滑川町では、古くから「ため池農法」によって米作りが行われてきました。沼の環境整備を通して、ため池の水が水田に利用されていることを再確認しました。当日は、谷津の里の皆様、エコミュージアムの皆様にご指導いただきました。また、上福田農地水保全会の皆様に谷津田米で作った甘酒をいただきました。感謝申し上げます。



十代からのメッセージ
滑川町青少年の主張大会



5年生 志塚巧海さん



6年生 小林元気さん



音楽和太鼓クラブ発表



雪遊び風景



滑川町学校保健委員会
沢崎俊之先生

3月・4月の主な行事予定 ※変更が生じる場合があります

3月 4日(土) 6年生を送る会
8日(水) PTA常任委員会
15日(水) ふれあい弁当
22日(水) 給食最終日
23日(木) 卒業式
24日(金) 修了式

4月 6日(木) 準備登校(新6年生)
10日(月) 始業式、入学式
11日(火) 避難訓練 3時間授業 PTA新旧引き継ぎ会
12日(水) 給食開始(1年生は給食なし)4時間授業
13日(木) 1年生給食なし 5時間授業
14日(金) 1年生簡単給食(18日まで)
18日(火) 全国学力・学習状況調査
19日(水) 授業参観(2校時) PTA総会 学級懇談会
給食・弁当なし 親子下校12:30
21日(水) 1年生心電図検査
26日(火) 1年生を迎える会
29日(祝) 昭和の日

